

追加ス

明治四十一年三月二十七日

逓信大臣 子爵堀田正養

一 設岐阜郡多度郡津町豊原村大字堀江、白方村大字東白方字嶽ノ下  
一 設岐阜郡多度郡津町大字善通寺(字在所、同南原、同上ヲ除ク)、同下吉田字本村、同九頭神、大字上吉田(字殿馬ヲ除ク)同生野(字割坪、同原、同小原、同山南、同上原、同山ノ間ヲ除ク)、同稻木字石川

○逓信省告示第三百四十五號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年三月二十七日

逓信大臣 子爵堀田正養

加入區域外  
通話區域

一 通話ノ  
電話料

一回ノ電  
話呼出料

「長大阪小松島間」ノ次ニ

長大阪多度津間 金六十錢 金二十錢  
長大阪善通寺間 金六十五錢 金二十錢

「長神戸小松島間」ノ次ニ

長神戸多度津間 金五十錢 金二十錢  
長神戸善通寺間 金五十五錢 金二十錢

「岡山小松島間」ノ次ニ

岡山善通寺間 金三十五錢 金二十錢

「高松小松島間」ノ次ニ

高松多度津間 金二十錢 金十五錢  
高松善通寺間 金二十錢 金十五錢

「德島小松島間」ノ次ニ

德島善通寺間 金二十五錢 金十五錢

「丸龜坂出間」ノ次ニ

丸龜善通寺間 金十錢 金十錢

「三津濱高濱間」ノ次ニ

坂出多度津間	金十錢	金十錢
坂出善通寺間	金十錢	金十錢
多度津善通寺間	金七十錢	金二十錢
長多度津廣島間	金五十錢	金二十錢
長多度津尾道間	金五十錢	金二十錢
長善通寺廣島間	金七十五錢	金二十錢

○逓信省告示第三百四十六號

本月三十日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年三月二十七日

逓信大臣 子爵堀田正養

名稱 小竹郵便局

位置 福岡縣鞍手郡勝野村

○逓信省告示第三百四十七號

明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中「筑前國遠賀郡折尾村大字折尾」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十一年三月二十七日

逓信大臣 子爵堀田正養

一 筑前國鞍手郡勝野村大字勝野字小竹、同堀川口、同峰畑  
一 筑前國遠賀郡折尾村大字折尾字口原、大字折尾字目尾、字龍波端

○逓信省告示第三百四十八號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年三月二十七日

逓信大臣 子爵堀田正養

「下關柳河間」ノ次ニ

加入區域外 通話區域	一 通話ノ 電話料	一回ノ電 話呼出料
下關小竹間	金二十錢	金十五錢



熊本來民間ノ次ニ	熊本小竹間	金五十錢	金二十錢
門司柳河間ノ次ニ	門司小竹間	金二十錢	金十五錢
小倉折尾間ノ次ニ	小倉小竹間	金二十錢	金十五錢
若松若津間ノ次ニ	若松小竹間	金二十錢	金十五錢
直方折尾間ノ次ニ	直方小竹間	金十錢	金十錢
飯塚折尾間ノ次ニ	飯塚小竹間	金十錢	金十錢
福岡山鹿間ノ次ニ	福岡小竹間	金二十錢	金十五錢
植木來民間ノ次ニ	折尾小竹間	金十五錢	金十錢

○逓信省告示第三百四十九號  
本月三十日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年三月二十七日

名稱 福山郵便局 位置 廣島縣深安郡福山町

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第三百五十號  
明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中「石見國鹿足郡津和野町」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十一年三月二十七日

一備後國深安郡福山町本庄村字西町吉津村野上村深津村字松原三吉村字新家町

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第三百五十一號

明治三十九年ハ逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年三月二十七日

長京都尾道間ノ次ニ	長京都福山間	金七十錢	金二十錢
長大阪岩國間ノ次ニ	長大阪福山間	金六十錢	金二十錢
長神戸岩國間ノ次ニ	長神戸福山間	金五十五錢	金二十錢
長岡山廣島間ノ次ニ	岡山福山間	金二十五錢	金十五錢
長倉敷廣島間ノ次ニ	倉敷福山間	金二十錢	金十五錢
廣島岩國間ノ次ニ	廣島福山間	金二十五錢	金十五錢
吳岩國間ノ次ニ	吳福山間	金二十五錢	金十五錢
尾道嚴島間ノ次ニ	尾道福山間	金十五錢	金十錢
長下關岩國間ノ次ニ	長下關福山間	金八十五錢	金二十錢
長岩國門司間ノ次ニ	長福山門司間	金八十五錢	金二十五錢



○逓信省告示第三百五十二號  
本月三十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス  
明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
東平郵便局 愛媛縣新居郡角野村

○逓信省告示第三百五十三號  
本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス  
明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
高山郵便局 愛媛縣東宇和郡高山村  
興居島郵便局 愛媛縣温泉郡興居島村  
庵治郵便局 香川縣木田郡庵治村  
鳴島郵便局 徳島縣麻植郡鳴島村

○逓信省告示第三百五十四號  
本月三十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス  
明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
加屋郵便局 愛媛縣喜多郡瀬川村(八多郵便局)  
前田郵便局 宮崎縣北諸縣郡高崎村大字前田(高崎郵便局)  
西古見郵便局 鹿兒島縣大島郡西方字西古見村(久野郵便局)  
下月塚郵便局 東京府豊多摩郡月塚村(半込郵便局)  
善養寺郵便局 山形縣西田川郡西郷村(大山郵便局)

○逓信省告示第三百五十五號  
本月三十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス  
明治四十一年三月二十七日

名 稱 現 在 位 置 移 轉 位 置  
高崎郵便局 宮崎縣北諸縣郡高崎村大字前田 宮崎縣北諸縣郡高崎村大字大平田  
小湊郵便局 新潟縣西頸城郡根知村 新潟縣西頸城郡小湊村

○逓信省告示第三百五十六號  
明治三十六年三勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス  
明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
安井郵便局 鳥取縣八頭郡安部村

○逓信省告示第三百五十七號  
本月二十八日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス  
明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
氣多郵便局 靜岡縣周智郡氣多村  
橋原郵便局 高知縣高岡郡西津野村  
船戸郵便局 高知縣高岡郡東津野村

○逓信省告示第三百五十八號  
本月三十日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス  
明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
月河内郵便局 廣島縣山縣郡月河内村

逓信大臣 子爵堀田正養  
位 置 宮崎縣北諸縣郡西嶽村

逓信大臣 子爵堀田正養  
位 置 徳島縣板野郡堀江村  
愛媛縣伊豫郡下灘村  
徳島縣阿波郡久砂村

大谷郵便局 徳島縣板野郡堀江村  
豊田郵便局 愛媛縣伊豫郡下灘村  
久千田郵便局 徳島縣阿波郡久砂村

逓信大臣 子爵堀田正養  
位 置 徳島縣板野郡堀江村  
愛媛縣伊豫郡下灘村  
徳島縣阿波郡久砂村

逓信大臣 子爵堀田正養  
位 置 宮崎縣北諸縣郡高崎村大字大平田  
新潟縣西頸城郡小湊村

逓信大臣 子爵堀田正養  
位 置 鳥取縣八頭郡安部村

逓信大臣 子爵堀田正養  
位 置 靜岡縣周智郡氣多村  
高知縣高岡郡東津野村  
高知縣高岡郡下牛山村

逓信大臣 子爵堀田正養  
位 置 廣島縣山縣郡月河内村



○逓信省告示第三百五十九號  
本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
藤崎郵便局 山形縣飽海郡藤田村  
遊佐郵便局 山形縣飽海郡遊佐村

名 稱 位 置  
市條郵便局 山形縣飽海郡市條村

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第三百六十號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ來四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
鷺川郵便局 大分縣速見郡御越町

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第三百六十一號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ來四月一日ヨリ左記郵便局ニ電報配達事務ヲ開始ス

明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
野間池郵便局 鹿兒島縣川邊郡西加世田村

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第三百六十二號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
谷合郵便局 岐阜縣山縣郡谷合村  
室山郵便局 三重縣三重郡四郷村  
楠郵便局 三重縣三重郡楠村

名 稱 位 置  
尾呂志郵便局 三重縣南牟婁郡尾呂志村  
大淀郵便局 三重縣多氣郡大淀村

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第三百六十三號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ來四月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
能地郵便局 廣島縣豐田郡佐江崎村

名 稱 位 置  
廣瀨郵便局 山口縣玖珂郡廣瀨村

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第三百六十四號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十一年三月二十七日

名 稱 位 置  
福岡郵便局 岐阜縣那加郡福岡村

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第三百六十五號

帝國鐵道廳官制第十三條ニヨリ明治四十年三月逓信省告示第七十三號中若松建設事務所ノ次ニ中津建設事務所ヲ追加シ其所管區域及位置左ノ通相定メ本年四月十日ヨリ施行ス

明治四十一年三月二十八日

名 稱 位 置  
中津建設事務所 所管區域 宇佐大分間

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第三百六十六號

明治四十年三月逓信省告示第六百四十號帝國鐵道廳所管貨物專用線哩程中左記ノ通追加シ又後藤寺起行間勝野桐野間勝野菅牟田間金田楠間ヲ改訂ス

明治四十一年三月二十八日

貨物專用線

逓信大臣 子爵堀田正養







○遞信省告示第三百六十九號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ但シ其取扱時間左ノ通相定ム

明治四十一年三月二十八日

遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 箱根郵便局

位 置

神奈川縣足柄下郡箱根町

取扱時間

一三月一日ヨリ十月三十一日マテ  
午前六時ヨリ午後十時マテ

一十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ  
午前七時ヨリ午後十時マテ

○遞信省告示第三百七十號

本月三十日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務及電話通話事務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年三月二十八日

遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 濱松郵便局

位 置

靜岡縣濱名郡濱松町

○遞信省告示第三百七十一號

本月二十九日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年三月二十八日

遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 牛津郵便局

位 置

佐賀縣小城郡牛津町

○遞信省告示第三百七十二號

來四月六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年三月二十八日

遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 小松島郵便局

位 置

德島縣勝浦郡小松島村

○遞信省告示第三百七十三號

福岡縣ニ於テ島原海灣三池港北突堤端へ左記ノ燈臺ヲ建設シ本年四月一日以後毎夜點火ノ旨同縣ヨリ報告セリ

明治四十一年三月二十八日

遞信大臣 子爵堀田正養

一 位 置

三池港燈臺

北緯約三十三度零分十五秒、東經約百二十度二十三分十八秒（水路部出版第百六十九號海圖）

一 構造及著色

鐵造圓柱形白色

一 自基礎

三丈四尺三寸

一 自燈火

四丈五尺

一 至燈火面

無等明暗白色、燈光發射ノ時間十五秒、遮暗ノ時間四秒

一 等級及燈質

磁針方位北三十七度十五分西ヨリ北東、南ヲ經テ南五十二度四十五分西マテ二百七十度間

一 明 弧

但磁針方位北三十七度十五分西ヨリ北二度四十五分東マテ四十度間及北十八度

三十分東ヨリ東、南ヲ經テ南五十二度四十五分西マテ二百十四度十五分間ハ紅

光ヲ以テ淺瀬ヲ示ス

右方位ハ海上ヨリ燈臺ニ向テ測定ス

一 燭 光 數

白光九十五 紅光三十八

一 光 達 距離

晴天ノ夜白光十浬 紅光七浬



○遞信省告示第三百七十四號  
本月三十日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

明治四十一年三月二十八日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第三百七十五號  
本月三十日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年三月二十八日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第三百七十六號

明治三十三年ハ遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中「肥後國鹿本郡來民町」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十一年三月二十八日

遞信大臣 子爵堀田正養

一肥後國八代郡八代町、太田郷村大字松江字北松江、同南松江

○遞信省告示第三百七十七號

明治三十九年ハ遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年三月二十八日

遞信大臣 子爵堀田正養

熊本小竹間ノ次ニ

加入區域外 通話區域	一話料 電話料	一話料 電話呼出料
熊本八代間	金二十錢	金十五錢
若松八代間	金五十五錢	金二十錢

若松小竹間ノ次ニ

長若松八代間	金五十五錢	金二十錢
--------	-------	------

川尻種木間ノ次ニ

川尻八代間	金二十錢	金十五錢
-------	------	------

福岡小竹間ノ次ニ

福岡八代間	金四十錢	金二十錢
-------	------	------

大牟田山鹿間ノ次ニ

大牟田八代間	金二十五錢	金十五錢
--------	-------	------

若津柳河間ノ次ニ

若津八代間	金二十五錢	金十五錢
-------	-------	------

久留米植木間ノ次ニ

久留米八代間	金二十五錢	金十五錢
--------	-------	------

山鹿來民間ノ次ニ

山鹿八代間	金二十五錢	金十五錢
-------	-------	------

折尾小竹間ノ次ニ

長八代長崎間	金七十五錢	金二十錢
長八代佐世保間	金五十五錢	金二十錢
八代佐賀間	金二十五錢	金十五錢

○遞信省告示第三百七十八號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

明治四十一年三月二十八日

遞信大臣 子爵堀田正養

現在位置 高知縣吾川郡小川村

移轉位置 高知縣吾川郡下八川村

○遞信省告示第三百七十九號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年三月三十日

遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 小川郵便局 現在位置 高知縣吾川郡小川村

○遞信省告示第三百八十號

本月三十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ松坂、相可ノ兩電信取扱所ニ於テハ電報配達事務



ヲ取扱ハス

明治四十一年三月三十日

遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 位 置

小坂井電信取扱所 愛知縣愛儀郡小坂井村小坂井停車場(村川鐵道)(小坂井局)

松坂電信取扱所 三重縣飯南郡鈴止村松坂停車場(松坂局)

相可電信取扱所 三重縣多氣郡相可村相可停車場(同)(相可局)

○遞信省告示第三百八十一號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス但シ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十一年三月三十日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第三百八十二號

本月三十一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十一年三月三十日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第三百八十三號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年三月三十日

遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第三百八十四號

本月三十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス

伏見郵便局

位 置 京都府紀伊郡伏見町

明治四十一年三月三十日

遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 位 置

名 稱 位 置

○遞信省告示第三百八十五號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱シ郵便物集配事務ヲ開始ス

明治四十一年三月三十日

遞信大臣 子爵堀田正養

現名稱 改 稱

藤枝驛郵便局 藤枝郵便局

大坂郵便局 大坂村郵便局

名 稱 位 置

靜岡縣志太郡青島村

靜岡縣小笠郡大坂村

○遞信省告示第三百八十六號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ郵便物集配事務ヲ開始ス

明治四十一年三月三十日

遞信大臣 子爵堀田正養

名 稱 位 置

風連郵便局 北海道天鹽國上川郡名寄村

上士別郵便局 北海道天鹽國上川郡士別村

名 稱 位 置

當麻郵便局 北海道石狩國上川郡當麻村

○遞信省告示第三百八十七號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本月三十一日ヨリ施行ス

明治四十一年三月三十日

遞信大臣 子爵堀田正養

加入區域外 一通話ノ

通話區域 電話料 一回ノ電 話呼出料

金一圓四十錢

金二十五錢

「長東京京都間」ノ次ニ

長東京 伏見間

金一圓四十錢

金二十五錢



「長横濱京都間」ノ次ニ	長横 伏見間	金一圓三十錢	金二十五錢
「長名古屋京都間」ノ次ニ	名古屋 伏見間	金四十五錢	金二十錢
「長岐阜京都間」ノ次ニ	岐阜 伏見間	金三十五錢	金二十錢
「長桑名京都間」ノ次ニ	桑名 伏見間	金三十五錢	金二十錢
「長四日市京都間」ノ次ニ	長四日市 伏見間	金三十五錢	金二十錢
「長津京都間」ノ次ニ	長津 伏見間	金二十五錢	金十五錢
「京都園部間」ノ次ニ	京都 伏見間	金五錢	金五錢
「嵯峨園部間」ノ次ニ	嵯峨 伏見間	金十錢	金十錢
「蘆岡園部間」ノ次ニ	蘆岡 伏見間	金十五錢	金十錢
「天津桂間」ノ次ニ	天津 伏見間	金十錢	金十錢
「天津神戸間」ノ次ニ	宇治 伏見間	金十錢	金十錢
「宮津口大野間」ノ次ニ	宮津 伏見間	金二十五錢	金十五錢
「宮津姫路間」ノ次ニ	彦根 伏見間	金二十五錢	金十五錢
「桂園部間」ノ次ニ	桂 伏見間	金十錢	金十錢

「舞鶴餘部間」ノ次ニ

伏見 大阪間	金二十五錢	金十五錢
伏見 茨木間	金二十錢	金十五錢
伏見 池田間	金二十錢	金十五錢
伏見 伊丹間	金二十錢	金十五錢
伏見 堺間	金二十五錢	金十五錢
伏見 和歌山間	金二十五錢	金十五錢
伏見 奈良間	金二十五錢	金十五錢
伏見 斑鳩間	金二十五錢	金十五錢
伏見 神戶間	金二十五錢	金十五錢

○逓信省告示第三百八十八號  
本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年三月三十日

逓信大臣 子爵堀田正養

名 稱 大野郵便局 位 置 愛知縣知多郡大野町

○逓信省告示第三百八十九號

明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中「尾張國知多郡小鈴谷村大字小鈴谷」ノ項ノ次ニ左ノ追加ス

明治四十一年三月三十日

逓信大臣 子爵堀田正養

一尾張國知多郡大野町鬼崎村大字西ノ口字新町

○逓信省告示第三百九十號

明治三十九年ハ逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ追加ス

明治四十一年三月三十日

逓信大臣 子爵堀田正養



加入區域外 通話區域		一 通話ノ 電話料	一 同ノ電 話呼出料
長東京安城間ノ次ニ	長東京大野間	金九十五錢	金二十錢
名古屋安城間ノ次ニ	名古屋大野間	金二十錢	金十五錢
岡崎安城間ノ次ニ	岡崎大野間	金二十錢	金十五錢
龜崎安城間ノ次ニ	龜崎大野間	金十錢	金十錢
半田安城間ノ次ニ	半田大野間	金十錢	金十錢
武豐小鈴谷間ノ次ニ	武豐大野間	金十錢	金十錢
四日市小鈴谷間ノ次ニ	四日市大野間	金二十錢	金十五錢
津山田間ノ次ニ	津大野間	金三十錢	金二十錢
長大垣神戶間ノ次ニ	小鈴谷大野間	金十錢	金十錢
長多治見神戶間ノ次ニ	長大野大野間	金六十五錢	金二十錢

○逓信省告示第三百九十一號  
本月三十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス  
明治四十一年三月三十日

名 稱 位 置  
日方郵便局 和歌山縣海草郡日方町  
二見郵便局 三重縣度會郡二見村  
鳥羽郵便局 三重縣志摩郡鳥羽町

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第三百九十二號  
明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加ス  
明治四十一年三月三十日

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第三百九十三號  
明治三十九年ハ逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ本月三十一日ヨリ施行ス  
明治四十一年三月三十日

加入區域外 通話區域		一 通話ノ 電話料	一 同ノ電 話呼出料
長東京奈良間ノ次ニ	長東京和歌山間	金一圓七十錢	金二十五錢
京都尼ヶ崎間ノ次ニ	長東京日方間	金一圓七十錢	金二十五錢
大阪郡山間ノ次ニ	京都日方間	金三十五錢	金二十錢
堺郡山間ノ次ニ	大阪日方間	金二十五錢	金十五錢
和歌山濱寺間ノ次ニ	堺日方間	金二十五錢	金十五錢
	和歌山日方間	金十錢	金十錢

逓信大臣 子爵堀田正養



○遞信省告示第三百九十四號  
郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十一年三月三十一日  
遞信大臣 子爵堀田正義

郡山神戸間ノ次ニ	日方神戸間	金三十錢	金二十錢
名古屋大野間ノ次ニ	名古屋島羽間	金三十五錢	金二十錢
	名古屋二見間	金三十五錢	金二十錢
四日市大野間ノ次ニ	四日市島羽間	金二十五錢	金十五錢
	四日市二見間	金二十五錢	金十五錢
津大野間ノ次ニ	津島羽間	金二十五錢	金十五錢
	津二見間	金二十五錢	金十五錢
津神戸間ノ次ニ	山田島羽間	金十錢	金十錢
	山田二見間	金十錢	金十錢
長大野大阪間ノ次ニ	島羽二見間	金十錢	金十錢

○遞信省告示第三百九十五號  
明治四十年九月 遞信省告示第五百六十九號本邦ト國際返信切手券ヲ交換スル國名表中「埃及」ノ次ニ「西班牙」ヲ加フ

明治四十一年三月三十一日  
遞信大臣 子爵堀田正義

米貨	一ダラー	二〇〇.〇〇	一圓ニ付「即チ四十九「セント」
銅貨	一マルク	一〇〇.〇〇	一圓ニ付「即チ三〇「セント」
剛貨	一フロリン	八〇.〇〇	一圓ニ付「即チ五十七「セント」
埃地利貨幣	一クロネ	一〇〇.〇〇	一圓ニ付「即チ四十一「セント」
洪得利貨幣	一コロナ	一〇〇.〇〇	一圓ニ付「即チ六〇「セント」
*香港洋銀	一ダラー	九二.七五	一圓ニ付「即チ七二「セント」
	一セント	九.二五	一圓ニ付「即チ六二「セント」
*墨銀	一ダラー	九二.五〇	一圓ニ付「即チ八「セント」
	一セント	九.三五	一圓ニ付「即チ〇一「セント」

(備考) 羅馬尼亞貨幣「ルー」及「バニ」ノ換算割合ハ佛貨換算割合ニ同シ \*香港爲替中銀公局及香港ニ振宛ツルモノニハ墨銀換算割合ヲ適用シ其他ノ地方ニ振宛ツルモノニハ香港洋銀換算割合ヲ適用ス

○遞信省告示第三百九十六號  
明治四十年九月 遞信省告示第五百八十五號帝國ト外國郵便爲替ヲ交換スル諸國等ヲ示ス表第一「通常爲替」一「直接交換國」甲 羅馬締結郵便爲替業務約定ニ依ルモノノ部中獨逸保護國獨領南西



亞弗利加ノ項爲替取扱局ノ欄「オマル」(Omaru)ノ次ニ「オタウイ」(Otaui)ヲ加フ

○遞信省告示第三百九十七號

明治三十六年三月三十一日 遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第三百九十八號

明治三十六年三月三十一日 遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第三百九十九號

明治三十六年三月三十一日 遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第四百號

明治四十一年三月三十一日 遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第四百一號

明治四十一年三月三十一日 遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第四百二號

明治四十一年三月三十一日 遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第四百三號

明治四十一年三月三十一日 遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第四百四號

明治四十一年三月三十一日 遞信大臣 子爵堀田正養

○遞信省告示第四百五號

明治四十一年三月三十一日 遞信大臣 子爵堀田正養



加シ來四月一日ヨリ施行ス

明治四十一年三月三十一日

加入區域外  
通話區域

逓信大臣 子爵堀田正養  
一 通話ノ  
電話料  
一 同ノ電  
話呼出料

「川越高崎間」ノ次ニ

川越 足利間

金二十五錢

金十五錢

「千葉木更津間」ノ次ニ

千葉 箱山間

金二十五錢

金十五錢

「銚子習志野間」ノ次ニ

銚子 佐倉間

金二十五錢

金十五錢

○逓信省告示第四百五號

山口縣長門國壇ノ浦燈臺及下關低燈ノ燭光數 光達距離ヲ左ノ通變更ス

明治四十一年三月三十一日

逓信大臣 子爵堀田正養

燭ノ浦燈臺

下關低燈

一 燭光數

九十

一 燭光數

八十

一 光達距離

九湮

一 光達距離

八湮

○逓信省告示第四百六號

來四月一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年三月三十一日

逓信大臣 子爵堀田正養

名 稱

位 置

一 深谷郵便局

逓信大臣 子爵堀田正養

本庄郵便局

埼玉縣兒玉郡本庄町

一 深谷郵便局

逓信大臣 子爵堀田正養

○逓信省告示第四百七號

明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中「武藏國北足立郡大宮町」ノ項ノ次ニ左ノ

通追加ス

明治四十一年三月三十一日

逓信大臣 子爵堀田正養

一 武藏國兒玉郡本庄町

一 武藏國大里郡深谷町大字深谷宿同東大沼字川原、大字西島(字藥師堂ヲ除ク)

○逓信省告示第四百八號

明治三十九年ハ逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追

加ス

明治四十一年三月三十一日

逓信大臣 子爵堀田正養

「東京木更津間」ノ次ニ

東京 木更津間

金二十五錢

金十五錢

「浦和千葉間」ノ次ニ

浦和 深谷間

金二十五錢

金十五錢

「熊谷甲府間」ノ次ニ

熊谷 深谷間

金十五錢

金十五錢

「水更津横須賀間」ノ次ニ

水更津 横須賀間

金三十錢

金二十錢

「本庄横須賀間」ノ次ニ

本庄 横須賀間

金二十五錢

金十五錢

「深谷前橋間」ノ次ニ

深谷 前橋間

金二十五錢

金十五錢

「高崎間」ノ次ニ

高崎 間

金二十五錢

金十五錢

加入區域外  
通話區域

一 通話ノ  
電話料

一 同ノ電  
話呼出料







「口大野四辻間」ノ次ニ

口大野 舞鶴間	金二十錢	金十五錢
口大野 餘部間	金二十錢	金十五錢
舞鶴 四辻間	金二十五錢	金十錢
四辻 餘部間	金二十錢	金十五錢

○統監府告示第十六號(官報三月一日)

釜山居留民國ノ地區ヲ左ノ通變更シ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年二月二十二日  
岩南半島ノ西方無名ノ溪流口ヨリ天馬山、九徳山、新岩山ノ分水線ニ依リ新溪川ノ右岸第一支流口ニ達シ之ヨリ峯五山ヲ經テ黑崎ニ達スル分水線ヲ以テ其ノ境界トス但シ冬栢島、絶影島ハ本地区ニ屬ス

○統監府告示第十七號(官報三月一日)

明治四十一年四月一日ヨリ鐵道管理局所管京義線及馬山線ニ於テ鐵道一般ノ運輸營業ヲ開始ス  
運輸營業ヲ爲スヘキ停車場及營業課程ハ鐵道管理局長官之ヲ定ム

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年二月二十五日

○統監府告示第十八號(官報三月一日)

左記郵便局所ノ位置名稱ハ京城及仁川各居留民國ニ於テ新町名命名ノ結果下記ノ通變更セリ

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年二月二十五日

局 所 名	現 在 位 置	改 名	備 考
光化門郵便局	漢城府中署瑞麟坊	京鐵道京城鐵路通一丁目	
南大門郵便局	京鐵道京城南大門通一丁目	京鐵道京城御成町	
西大門郵便局	漢城府西署盤松坊	京鐵道京城竹湍町	
京城新町郵便局	京鐵道京城新町三丁目	京鐵道京城新町	
京城東大門郵便局	漢城府中署貞善坊大洞洞	京鐵道京城東大門通一丁目	
仁川花町郵便局	京鐵道仁川花町一丁目	京鐵道仁川花町二丁目	

○統監府告示第十九號(官報三月四日)

明治四十一年二月二十六日韓國政府ニ於テ公布シタル鑛業法施行細則中改正ノ件譯文左ノ如シ

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年二月二十八日

鑛業法施行細則中左ノ通改正ス

第四條 鑛業法第八條ノ願書ハ農商工部ニ到着シタル日ヲ以テ到達ノ日トス

附 則

本令ハ隆熙二年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

○統監府告示第二十號(官報三月四日)

明治四十一年二月十五日韓國政府ニ於テ公布シタル鑛業法施行細則附屬樣式中改正ノ件譯文左ノ如シ

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

明治四十一年二月二十八日

鑛業法施行細則附屬樣式各注意中書留郵便ヲ以テ内國人ニアリテハ農商工部ニ差出シ外國人ニアリテハ統監府ニ差出スヘシヲ書留郵便ヲ以テ農商工部ニ差出スヘシニ改ム



本令ハ隆熙二年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

○統監府告示第二十一號(官報三月四日)

明治四十一年一月十五日韓國政府ニ於テ公布シタル砂鐵採取法施行細則附屬樣式中改正ノ件譯文左ノ如シ

明治四十一年二月二十八日

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

砂鐵採取法施行細則附屬樣式各注意中「書留郵便ヲ以テ内國人ニアリテハ農商工部ニ差出シ外國人ニアリテハ統監府ニ差出スヘシ」ヲ「書留郵便ヲ以テ農商工部ニ差出スヘシ」ニ改ム

本令ハ隆熙二年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

○統監府告示第二十二號(官報三月九日)

明治四十一年四月一日ヨリ左記郵便所ヲ設置ス但シ釜山寶水町郵便所ニ於テハ郵便物ノ集配事務ハ之ヲ取扱ハス

明治四十一年三月三日

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

釜山寶水町郵便所 釜山寶水町一丁目  
釜山寶水町郵便所 釜山寶水町一丁目

釜山寶水町郵便所 釜山寶水町一丁目

平安南道蔚川郡蔚川邑  
平安北道蔚山郡蔚山邑

○統監府告示第二十三號(官報三月九日)

明治四十一年三月十六日ヨリ左記郵便取扱所ヲ設置ス

明治四十一年三月三日

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

所名 永同郵便取扱所 位置 忠清北道永同郡永同邑

○統監府告示第二十四號(官報三月九日)

明治四十一年三月十六日ヨリ左記郵便取扱所ヲ移轉シ坡州、金山及鳳山各郵便取扱所ハ同日ヨリ下記ノ通改稱ス

明治四十一年三月三日

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

坡州郵便取扱所 京畿道坡州郡坡州邑 改稱 坡州郵便取扱所  
沃川郵便取扱所 忠清北道沃川郡沃川邑 改稱 沃川郵便取扱所  
金山郵便取扱所 忠清北道金山郡金山邑 改稱 金山郵便取扱所  
鳳山郵便取扱所 忠清北道鳳山郡鳳山邑 改稱 鳳山郵便取扱所

○統監府告示第二十五號(官報三月九日)

明治四十一年三月十五日限り左記郵便取扱所及郵便所ヲ廢止ス同所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便取扱所之ヲ承繼ス

明治四十一年三月三日

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

黃洞郵便取扱所 忠清北道黃洞郡黃洞邑 承繼所名 永同郵便取扱所  
永同郵便所 忠清北道永同郡永同邑  
汶山郵便所 京畿道坡州郡七井面汶山浦  
沃川停車場前郵便所 忠清北道沃川郡邑内面佳花洞  
清道停車場前郵便所 忠清北道清道郡下面高樹洞  
金泉郵便所 忠清北道金山郡金泉面下新基洞  
沙利院郵便所 黃海道鳳山郡沙利院坊沙利院洞

明治四十一年三月 告示 統監府第二十四號 第二十五號



○統監府告示第二十六號(官報三月九日)

明治四十一年三月十一日ヨリ左記郵便局ニ於テ特設電話加入申請ヲ受理ス其ノ手續ハ同郵便局ニ就キ承合スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ告示ス

明治四十一年三月三日

名 稱 光州郵便局 位 置 全羅南道光州郡光州邑

統監代理 副統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第二十七號(官報三月九日)

明治四十一年四月一日ヨリ左記局所ニ電話通話事務ヲ開始シ本浦及各相互間ノ通話ヲ取扱ハシム

明治四十一年三月三日

名 稱 光州郵便局 位 置 全羅南道光州郡光州邑

統監代理 副統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第二十八號(官報三月九日)

明治四十一年四月一日ヨリ左記郵便局所ノ電話呼出地域ヲ下記ノ通定ム

明治四十一年三月三日

名 稱 光州郵便局 位 置 全羅南道光州郡光州邑

統監代理 副統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第二十九號(官報三月十一日)

光州郵便局 光州郡ノ内 城内面一圓、不動坊面ノ内瑞南里、眉陽洞、院旨里、弓樹村、用江村、浩然村、派作村、錦溪洞、西外里、楊林村、新社村、社稷村、新巴村、奇禮坊面一圓

羅州郵便局 羅州郡ノ内 羅州邑(東部面ノ内后村、立石果元、倉洞、古洞、洞水、紙碓、后院、高橋、南山、左邊、右邊、西部面ノ内北門、朴丁、明洞、西門、州司、今溪、長洞、川邊、伏岩面ノ内伏岩洞、知真面ノ内榮山浦

榮山浦郵便局 羅州郡ノ内 知真面ノ内榮山浦

統監府告示第二十九號(官報三月十一日)

明治四十一年三月十六日以降當分ノ内左記郵便局ヲテ明治三十七年五月遞信省令第三十七號ニ依リ軍人軍屬ノ振出ス通常爲替ノ取扱ヲ爲サシム

明治四十一年三月六日

局 名 安東郵便局 位 置 慶尙北道安東郡安東邑

統監代理 副統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第三十號(官報三月十一日)

明治四十一年三月二十一日ヨリ左記郵便取扱所ヲ郵便電信取扱所トシ下記ノ通改稱ス但シ謄文電報ハ之ヲ取扱ハス

明治四十一年三月六日

局 名 慶尙北道軍威郡軍威邑 位 置 慶尙北道軍威郡軍威邑

統監代理 副統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第三十一號(官報三月十七日)

明治四十一年四月一日ヨリ左記郵便及電信局所名及其ノ位置名稱下記ノ通改ム

明治四十一年三月十二日

局 名 忠清南道懷德郡外南面太田 位 置 忠清南道懷德郡外南面太田

統監代理 副統監 子爵曾禰荒助

大田郵便局 忠清南道懷德郡外南面太田

長端電信取扱所 京畿道 長端鐵道停車場

大田郵便局 忠清南道懷德郡外南面太田

太田電信取扱所 忠清南道 太田鐵道停車場

長端電信取扱所 京畿道 長端鐵道停車場

沙利院電信取扱所 黃海道 沙利院鐵道停車場

大田電信取扱所 忠清南道 大田鐵道停車場

沙利院電信取扱所 黃海道 沙利院鐵道停車場

沙里院電信取扱所 沙里院鐵道停車場



○統監府告示第三十二號(官報三月十七日)

明治四十一年四月十六日ヨリ左記郵便所ニ電信事務ヲ開始ス但シ諺文電報ハ之ヲ取扱ハス

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

位 位

所 名

所 名

統監府告示第三十三號(官報三月十九日)  
明治四十一年四月一日ヨリ左記郵便局ニ特設電話交換業務ヲ開始シ同局電話加入者ノ電線託送電報ヲ取扱ハシム

所 名

所 名

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

位 位

所 名

所 名

明治四十一年三月十四日

名 稱 成鏡郵便局

位 位 成鏡南道成鏡郡成鏡邑

○統監府告示第三十四號(官報三月二十三日)

明治四十一年四月一日ヨリ鐵道管理局所管京釜線草梁釜山間ニ於テ鐵道一般ノ運輸營業ヲ開始ス一運輸營業ヲ爲スヘキ停車場及營業哩程ハ鐵道管理局長官之ヲ定ム

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

位 位

所 名

所 名

○統監府告示第三十五號(官報三月二十三日)

明治四十一年四月一日ヨリ左記郵便局郵便電信取扱所及郵便所ニ於テ諺文電報ヲ取扱ハシム

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

位 位

所 名

所 名

局 所 名

位 位

龍山郵便局

漢城府西界龍山房

尙州郵便局

慶尙北道尙州郡尙州邑

新義州郵便局

平安北道新義州府光城面新義州

定州郵便局

平安北道定州郡定州邑

楚山郵便局

平安北道楚山郡楚山邑

開島郵便局

開島六道海龍井村

蔚山郵便電信取扱所

慶尙南道蔚山郡蔚山邑

平壤大和町郵便電信取扱所

平安南道平壤大和町

車登館郵便電信取扱所

平安北道宣川郡車登館

宣川郵便電信取扱所

平安北道宣川郡宣川邑

永興郵便電信取扱所

咸鏡南道永興郡永興邑

穩城郵便電信取扱所

咸鏡北道穩城郡穩城邑

蘆源郵便電信取扱所

咸鏡北道蘆源郡蘆源邑

鍾城郵便電信取扱所

咸鏡北道鍾城郡鍾城邑

局 所 名

位 位

北芥坪郵便電信取扱所

咸鏡北道穩城郡忠洞社芥坪

富寧郵便電信取扱所

咸鏡北道富寧郡富寧邑

明川郵便電信取扱所

咸鏡北道明川郡明川邑

茂山郵便電信取扱所

咸鏡北道茂山郡茂山邑

羅南郵便電信取扱所

咸鏡北道羅南郡羅南邑

京城本町六丁目郵便所

京城道京城本町六丁目

仁川花町郵便所

京城道仁川花町二丁目

羅州郵便所

全羅南道羅州郡羅州邑

松京郵便所

慶尙南道巨濟郡長木面松京

釜山郵便所

慶尙南道東萊府釜山面釜山鎮

東萊郵便所

慶尙南道東萊府首面東萊里

長生浦郵便所

慶尙南道蔚山郡峴南面大井洞長生浦

大邱西門外郵便所

慶尙北道大邱郡西上面前洞

洛東郵便所

慶尙北道尙州郡外東面津上里

統監代理

副統監 子爵曾禰荒助

位 位

局 所 名

局 所 名

京城郵便局

京城道京城本町一丁目

仁川郵便局

京城道仁川仲町一丁目

水浦郵便局

全羅南道務安府水浦各兩居留地

群山郵便局

全羅北道群山郡

釜山郵便局

慶尙南道釜山西町二丁目

平壤郵便局

平安南道平壤郡隆德部線光亭洞

義州郵便局

平安北道義州府義州邑

元山郵便局

咸鏡南道元山本町一丁目

○統監府告示第三十七號(官報三月二十四日)

外國郵便爲替交換局ノ所在地ニ設置セル郵便局所ニ於テハ香港トノ條約ニ依ル通常爲替(媒介爲替)ヲ除ク



ノ拂渡ヲ取扱ハス但シ轉送又ハ拂渡郵便局所變更ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

明治四十一年三月十七日

○統監府告示第三十八號(官報三月二十四日)  
明治四十一年四月一日ヨリ左記電信取扱所ノ取扱事項中電報取扱時間ヲ左ノ通改ム

明治四十一年三月十七日

所 名 現 在 改 正  
天安電信取扱所 自午前七時 自午前七時至午後十時  
至午後七時 但シ至急電報ニ限リ時間外ト雖之ヲ取扱フ

○統監府告示第三十九號(官報三月二十四日)  
明治四十一年三月十六日京城居留民國立京城尋常高等小學校ヲ明治四十一年四月一日ヨリ京城居留民國立第一尋常高等小學校ト改稱ノ件認可セリ

明治四十一年三月十七日

○統監府告示第四十號(官報三月二十五日)  
明治四十一年二月二十九日韓國政府ニ於テ公布シタル度支部令第四號舊白銅貨交換期限ニ關スル件譯文左ノ如シ

明治四十一年三月二十日

舊白銅貨交換期限ニ關スル件  
光武九年勅令第四號第四條ニ依リ舊白銅貨ノ交換ハ隆熙二年十一月三十日限り之ヲ廢止シ其ノ通用ヲ禁止ス但シ右期限後六箇月間ハ公納ニ用井ルコトヲ得

○統監府告示第四十一號(官報三月二十五日)

明治三十九年<sup>十二</sup>統監府告示第五百五十三號韓國國內電報別使配達料及解船配達料左記中龍岩浦局多獅島ノ部ヲ左記ノ通改メ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年三月二十日

配達局名 龍岩浦 龍岩浦地多獅島  
解船配達料 六〇〇〇

○臺灣總督府告示第二十七號(官報三月五日)  
明治三十九年<sup>七</sup>告示第五十一號特設電話事務取扱ヲ爲ス郵便局所ノ名稱並其ノ位置及指定區域ニ左ノ通追加ス

明治四十一年二月二十六日

○臺灣總督府告示第二十八號(官報三月五日)  
明治四十一年三月一日ヨリ阿緞郵便局ニ於テ明治三十九年<sup>六</sup>府令第四十四號特設電話加入規則ニ依ル加入申込ヲ受理ス

明治四十一年二月二十六日

○臺灣總督府告示第二十九號(官報三月五日)  
明治四十一年二月二十九日限阿里山郵便受取所ヲ廢止ス但シ當該郵便受取所ニ於テ取扱ヒタル事務ハ竹頭崎郵便出張所之ヲ承繼ス

明治四十一年二月二十七日











○臺灣總督府告示第四十四號(官報三月三十一日)  
明治四十一年四月一日ヨリ臺灣總督府專賣局布袋嘴支局ノ出張所ヲ設置シ其ノ名稱、位置左ノ通  
相定ム

明治四十一年三月二十五日

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

局	名	出張所名	位	置
臺灣總督府專賣局布袋嘴支局	掌潭出張所	嘉義縣大坵田西堡掌潭庄		

○臺灣總督府告示第四十五號(官報三月三十一日)

明治四十一年三月二十八日ヨリ二苓庄郵便受取所ニ於テ電話交換業務ヲ開始シ明治三十三年九月遞  
信省令第四十六號電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年三月二十五日

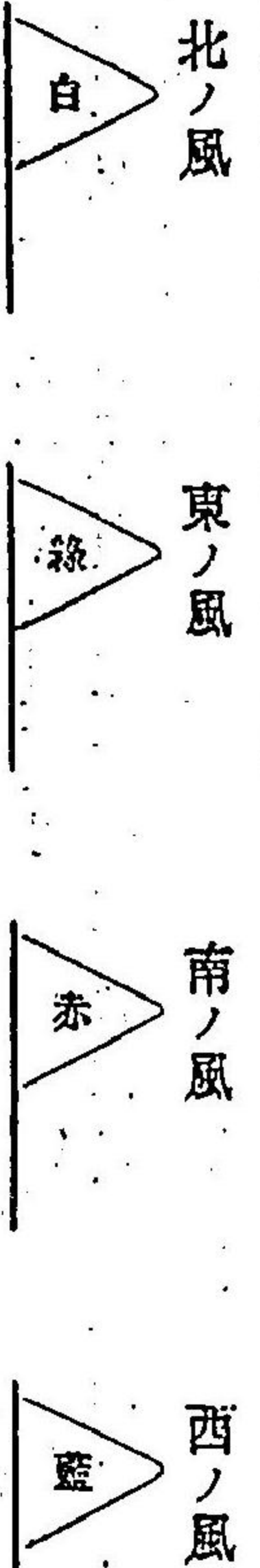
臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○關東都督府告示第二十一號(官報三月十二日)  
關東都督府天氣豫報信號標左ノ通相定ム

明治四十一年二月二十九日

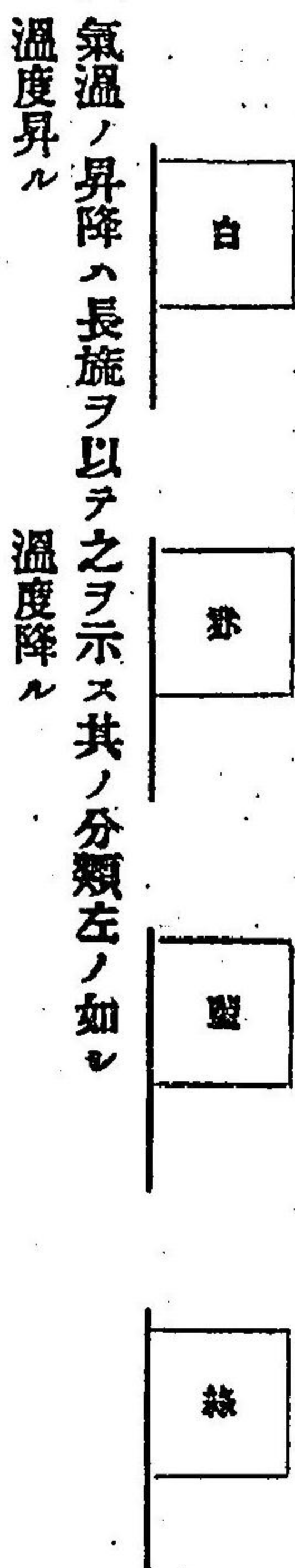
關東都督 子爵大島義昌

第一條 天氣豫報信號標ヲ分テ左ノ三種トス  
一風向ハ三角旗ヲ以テ之ヲ示ス其ノ分類左ノ如シ

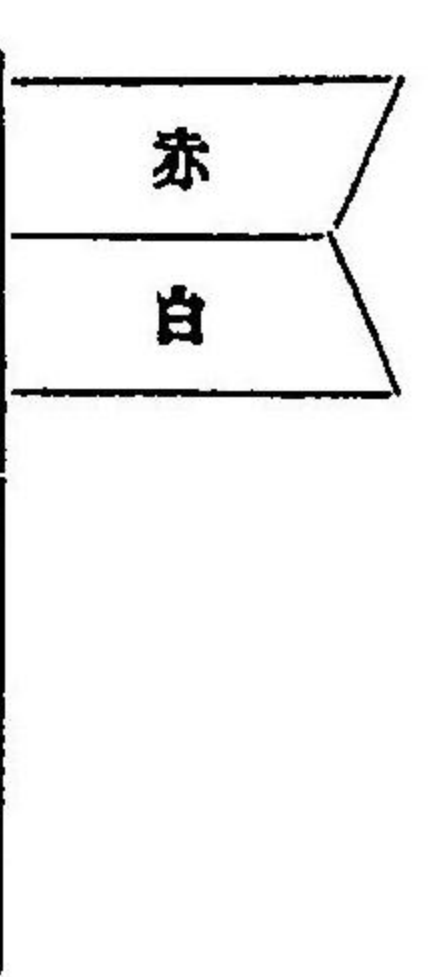


一天氣ハ方旗ヲ以テ之ヲ示ス其ノ分類左ノ如シ

一氣溫ノ昇降ハ長旋ヲ以テ之ヲ示ス其ノ分類左ノ如シ



第二條 風力強烈ノ豫報ヲ發シタルトキハ左ノ信號標ヲ以テ之ヲ示ス



第三條 豫報用語ヲ重用スルトキハ其ノ順序ニ依リ信號標ヲ連掲スルモノトス  
第四條 天氣豫報信號標ハ毎日日没迄之ヲ掲揚スルモノトス但シ臨時豫報信號標ハ此ノ限ニアラ  
ズ

○關東都督府告示第二十二號(官報三月十二日)

關東都督府暴風警報信號標左ノ通相定ム

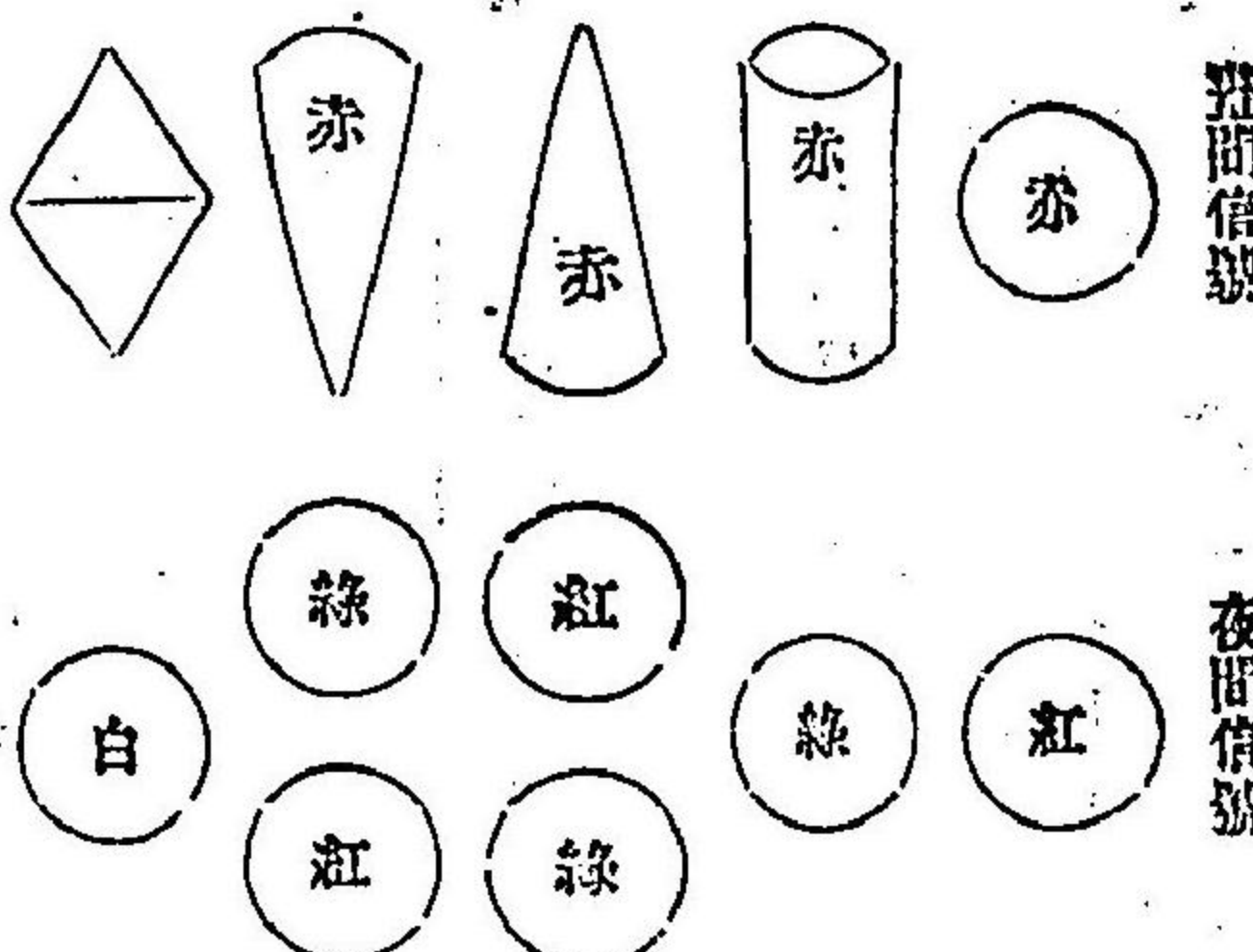
明治四十一年二月二十九日

關東都督 子爵大島義昌



第一條 暴風警報信號標ヲ分チテ赤球赤圓筒赤圓錐白圓錐ノ四種トシ夜間ハ紅燈ヲ以テ球ニ綠燈ヲ以テ圓筒ニ紅燈ニ燈ヲ以テ圓錐ニ白燈ヲ以テ圓錐ニ代用スルモノトス

第二條 球圓筒及圓錐ハ其ノ地方警報中ナルヲ示シ圓錐ハ其ノ地方以外ニ警報中ノ所アルヲ示ス其ノ詳細ハ左ノ如シ



天候不穩ノ虞アリ其ノ地方海陸トモ警報中ナルヲ示ス

天候不穩ノ虞アリ其ノ地方海陸トモ警報中ナルヲ示ス

天候特ニ危險ノ虞アリ其ノ地方海陸トモ警報中ニシテ風向東ヨリ南ニ迴ラムトス

同上風向東ヨリ北ニ迴ラムトス

其ノ地以外ニ警報中ノ所アルヲ示ス

第三條 暴風警報信號標ハ左ノ割合ニ據ルモノトス但シ球ノ直徑ハ三尺以上トス

第四條 暴風警報信號標ハ高サ五間以上ニシテ且三尺毎ニ赤白二色ニ塗分ケタル柱頭ニ掲クルモ

ノトス 第五條 暴風警報信號標ハ大連測候所ヨリ發シタル暴風警報ニ依リ揚卸シ同時ニ警報ノ全文ヲ附

近適宜ノ場所ニ揭示スルモノトス

○關東都督府告示第二十三號(官報三月十二日)  
 明治四十年五月府令第三十二號ニ依ル銀ノ價格ヲ明治四十一年三月一日以降銀一圓ニ付金八十九錢ニ改定ス

明治四十一年二月二十九日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第二十四號(官報三月十四日)  
 明治四十一年二月府令第五號關東州小學校規則ニ依リ明治四十一年四月一日ヨリ小學校ニ於テ使用

スハキ教科用圖書左ノ如シ  
 明治四十一年三月五日

關東都督 子爵大島義昌

教科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	尋常小學修身書 第一學年教師用書	尋常小學修身書 第二學年教師用書	尋常小學修身書 第三學年教師用書	尋常小學修身書 第四學年教師用書	尋常小學修身書 第五學年教師用書	尋常小學修身書 第六學年教師用書
國語	尋常小學讀本一、二 手本第一學年用	尋常小學讀本三、四 手本第二學年用	尋常小學讀本五、六 手本第三學年用	尋常小學讀本七、八 手本第四學年用	高等小學讀本一、二 手本第一學年用	高等小學讀本三、四 手本第二學年用
算術	尋常小學算術書 第一學年教師用書	尋常小學算術書 第二學年教師用書	尋常小學算術書 第三學年教師用書	尋常小學算術書 第四學年教師用書	尋常小學算術書 第五學年教師用書	尋常小學算術書 第六學年教師用書
理科	尋常小學理科書 第一學年教師用書	尋常小學理科書 第二學年教師用書	尋常小學理科書 第三學年教師用書	尋常小學理科書 第四學年教師用書	尋常小學理科書 第五學年教師用書	尋常小學理科書 第六學年教師用書
音樂	尋常小學音樂書 第一學年教師用書	尋常小學音樂書 第二學年教師用書	尋常小學音樂書 第三學年教師用書	尋常小學音樂書 第四學年教師用書	尋常小學音樂書 第五學年教師用書	尋常小學音樂書 第六學年教師用書
美術	尋常小學美術書 第一學年教師用書	尋常小學美術書 第二學年教師用書	尋常小學美術書 第三學年教師用書	尋常小學美術書 第四學年教師用書	尋常小學美術書 第五學年教師用書	尋常小學美術書 第六學年教師用書
勞作	尋常小學勞作書 第一學年教師用書	尋常小學勞作書 第二學年教師用書	尋常小學勞作書 第三學年教師用書	尋常小學勞作書 第四學年教師用書	尋常小學勞作書 第五學年教師用書	尋常小學勞作書 第六學年教師用書
英語	尋常小學英語書 第一學年教師用書	尋常小學英語書 第二學年教師用書	尋常小學英語書 第三學年教師用書	尋常小學英語書 第四學年教師用書	尋常小學英語書 第五學年教師用書	尋常小學英語書 第六學年教師用書
衛生	尋常小學衛生書 第一學年教師用書	尋常小學衛生書 第二學年教師用書	尋常小學衛生書 第三學年教師用書	尋常小學衛生書 第四學年教師用書	尋常小學衛生書 第五學年教師用書	尋常小學衛生書 第六學年教師用書
體育	尋常小學體育書 第一學年教師用書	尋常小學體育書 第二學年教師用書	尋常小學體育書 第三學年教師用書	尋常小學體育書 第四學年教師用書	尋常小學體育書 第五學年教師用書	尋常小學體育書 第六學年教師用書
軍事	尋常小學軍事書 第一學年教師用書	尋常小學軍事書 第二學年教師用書	尋常小學軍事書 第三學年教師用書	尋常小學軍事書 第四學年教師用書	尋常小學軍事書 第五學年教師用書	尋常小學軍事書 第六學年教師用書
公民	尋常小學公民書 第一學年教師用書	尋常小學公民書 第二學年教師用書	尋常小學公民書 第三學年教師用書	尋常小學公民書 第四學年教師用書	尋常小學公民書 第五學年教師用書	尋常小學公民書 第六學年教師用書
社會	尋常小學社會書 第一學年教師用書	尋常小學社會書 第二學年教師用書	尋常小學社會書 第三學年教師用書	尋常小學社會書 第四學年教師用書	尋常小學社會書 第五學年教師用書	尋常小學社會書 第六學年教師用書
自然	尋常小學自然書 第一學年教師用書	尋常小學自然書 第二學年教師用書	尋常小學自然書 第三學年教師用書	尋常小學自然書 第四學年教師用書	尋常小學自然書 第五學年教師用書	尋常小學自然書 第六學年教師用書
地理	尋常小學地理書 第一學年教師用書	尋常小學地理書 第二學年教師用書	尋常小學地理書 第三學年教師用書	尋常小學地理書 第四學年教師用書	尋常小學地理書 第五學年教師用書	尋常小學地理書 第六學年教師用書
歷史	尋常小學歷史書 第一學年教師用書	尋常小學歷史書 第二學年教師用書	尋常小學歷史書 第三學年教師用書	尋常小學歷史書 第四學年教師用書	尋常小學歷史書 第五學年教師用書	尋常小學歷史書 第六學年教師用書
外國語	尋常小學外國語書 第一學年教師用書	尋常小學外國語書 第二學年教師用書	尋常小學外國語書 第三學年教師用書	尋常小學外國語書 第四學年教師用書	尋常小學外國語書 第五學年教師用書	尋常小學外國語書 第六學年教師用書



算術	尋常小學算術書 第一學年教師用書	尋常小學算術書 第二學年教師用書	尋常小學算術書 第三學年教師用書	尋常小學算術書 第四學年教師用書	高等小學算術書 第一學年教師用書	高等小學算術書 第二學年教師用書	高等小學算術書 第三學年教師用書	高等小學算術書 第四學年教師用書
日本歷史				高等小學算術書 用書	高等小學算術書 用書	高等小學算術書 用書	高等小學算術書 用書	高等小學算術書 用書
地理				小學地理一	小學地理一	小學地理一	小學地理二	小學地理二
圖畫		尋常小學毛筆畫 手本第二學年用	尋常小學毛筆畫 手本第三學年用	尋常小學毛筆畫 手本第四學年用	高等小學毛筆畫 手本第一學年用	高等小學毛筆畫 手本第二學年用	高等小學毛筆畫 手本第三學年用	高等小學毛筆畫 手本第四學年用

高等小學校

教科目	第一學年		第二學年	
	修身	國語	算術	日本歷史
修身	高等小學修身書 第三學年教師用	高等小學修身書 第三學年兒童用	高等小學修身書 第四學年教師用	高等小學修身書 第四學年兒童用
國語	高等小學讀本 第五六	高等小學讀本 第七八	高等小學讀本 第九十	高等小學讀本 第十一十二
算術	高等小學算術書 第三學年教師用	高等小學算術書 第三學年兒童用	高等小學算術書 第四學年教師用	高等小學算術書 第四學年兒童用
日本歷史	小學日本歷史 三	小學日本歷史 四	小學日本歷史 五	小學日本歷史 六

地 理	小學地理		小學地理	
	三	四	三	四
圖 畫	高等小學毛筆畫手本 男生用第三學年	高等小學毛筆畫手本 女生用第三學年	高等小學毛筆畫手本 男生用第四學年	高等小學毛筆畫手本 女生用第四學年
英 語	井上小學英語讀本	井上小學英語讀本	井上小學英語讀本	井上小學英語讀本
商 業	鹿野清次郎星野太郎共著 高等小學商業書 教師用	鹿野清次郎星野太郎共著 高等小學商業書 兒童用	鹿野清次郎星野太郎共著 高等小學商業書 教師用	鹿野清次郎星野太郎共著 高等小學商業書 兒童用

○關東都督府告示第二十五號(官報三月十四日)

明治四十一年三月七日旅順水道事務所ヲ旅順舊市街鱸江町三十一番地ニ移轉ス

明治四十一年三月六日 關東都督 子爵大島義昌



十之七

明治四十一年三月 東京

五六〇



